

ふるど



町花：山百合

議会だより

6月定例会

No.144

平成30年7月20日

国民健康保険税 3年連続で引き下げ	2
可決した予算等.....	3
一般質問：地域防災力の充実など7議員が14問 ...	7
追跡レポート：三株山頂富士見台改修に木材の利用を	15



幼年消防クラブ
の演技（6月3日）

健康保険税

引き下げ

1人あたり平均約1,126円の減額

6月定例会は8日から14日まで、7日間の会期で開催されました。国民健康保険条例の改正を始め、税条例の改正など7件の専決処分や、追加議案で工

議案
審議

国民健康保険条例の一部を改正する条例

国保税率の引き下げを行う改正。

質疑

Q 一世帯・一人あたりの保険税は、どれくらいが算定されたのか。

A 全体として前年より約9%程度の減になり、年額で一世帯あたり平均は18万4275円、前年より1万9618円の減一人あたり平均は11万2894円で、前年より1万697円の減となります。世帯構成や所得の状況によりまして、一律この金額とはなりません。

Q 石川管内の町村は一人あたり年額平均で8万円台。古殿町では医者にかかる人が多く、予防事業に力を入れているために費用がかかるのか。

A 管内状況の比較は、県への納付金額、前年からの繰越剰金、独自事業は町村で違いますから町の事業をたくさんやっている、医者にも多くかかっているとは一概に言えません。

採決 全員賛成

可決

国民健康保険制度が県と共同運営になります

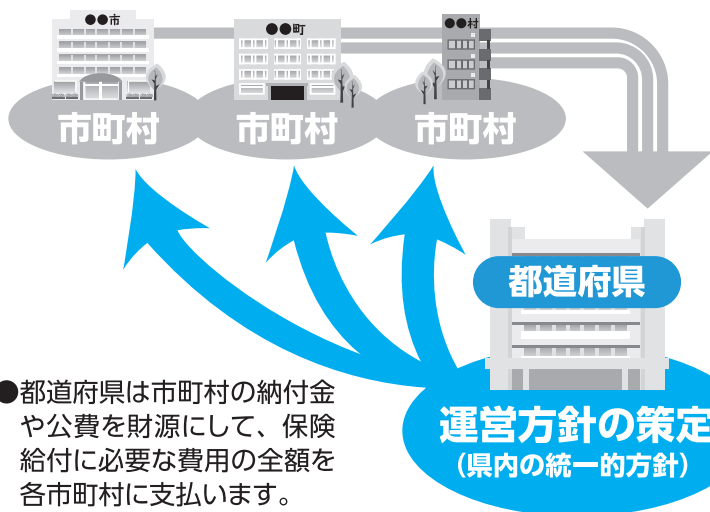
事請負契約の締結を含む12議案が原案の通り可決され、14日に閉会しました。

国民健康保険制度は、日本の国民皆保険の基盤となる仕組みですが「高齢者の加入割合が高く、一人あたりの医療費が高い」「財政基盤が不安定」といった課題を抱えています。財政運営の仕組みは変わりますが加入者の方は医療の受け方などに変更はありません。

●平成30年4月から

都道府県と市町村が協力して運営

●各市町村は加入者から保険料を集め、都道府県に納付します。



●都道府県は市町村の納付金や公費を財源にして、保険給付に必要な費用の全額を各市町村に支払います。

※福島県ホームページより抜粋

3年連続

可決した主な予算等

議案
審議

和解について

介護保険の高額介護サービス費の算定において、システム改修に誤りがあり、高額介護サービス費が被保険者に過払いされたため、システム委託業者より和解金の提示があったことから議決を求める。

質疑

Q 和解金20万円の算出根拠は。

A 委託業者から提案があり、職員が対象者への説明に要した人件費等12万9419円を勘案した金額です。

Q 過払い金は来庁して返還させたのか。

A 3月19、20日に電話連絡してから、職員が訪問して謝罪と経緯について話しました。納入については当日お支払いいただいた方もいましたが、後日対応の方もいました。

採決
全員賛成
可決

議案
審議

平成30年度古殿町一般会計第一次補正予算

歳入歳出それぞれ409万9千円を増額し、総額を44億1709万9千円とするもの。歳入はコミュニティ助成事業補助金200万円、光ケーブル移設に伴う補償金400万円の増額、歳出は土木総務費におけるホイールローダー購入関係経費226万6千円の増額が主なもの。一般会計から国保特別会計への繰り出しは416万7千円減額となっております。

質疑

Q コミュニティ助成事業補助金の内訳は。

A 上松川区が所有している防犯灯、街路灯のLED化に対する助成金を計上しています。

Q コミュニティ助成事業補助金の今後の見通しは。

A 31年度の要項は示されていませんが、例年ですと、8月の区長会で申請の説明をし、9月頃までに申請を行い、翌年の3月に決定される流れになります。

採決
全員賛成
可決

議案
審議

工事請負契約の締結

防災行政無線デジタル化改修工事
契約金額 3億1666万7988円
相手方 宮城県仙台市青葉区
パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 東北社
社長 武部 恭士

質疑

Q 平成30、31年度の工事内容をお聞かせします。

A 30年度は伝搬調査と役場の本局、屋外子局や中継局の整備を開始し、31年度は30年度工事の続きと、個別受信機の各世帯への設置を予定しています。

Q デジタル化改修工事が行われると、各家庭はどのようになりますか。

A 20年を経過して、個別受信機の不具合が増えておりますので、入れ替えることによってクリアで故障の少ない放送が聴けるようになります。

採決
全員賛成
可決

常任委員会の活動

総務常任委員会

コスモス荘および鮫川村学校給食センターを視察し意見交換をしました。
現地調査後、担当課長より介護保険や国民健康保険に関する説明を受け、事務調査を行いました。



小中学生の給食がつくられる鮫川村給食センター

産業建設常任委員会

町民体育館周辺道路、大原木材加工施設、古殿中学校舎、愛宕団地跡地などの現地視察をしました。
現地調査後、担当課長より視察箇所について説明を受け、事務調査を行いました。



有効な利用が期待される木材加工施設

議員報酬に関する議員発議

◎「古殿町議会議員の議員報酬の特例に関する条例」

発議者 佐川 勇司 議員

議員活動服の予算計上にあたり、議員の皆さんに対して説明不足があり、議会の混乱を招いたことを深くお詫び申し上げます。議長30%、副議長20%の議員報酬削減、1カ月を提案いたします。

討論

反対

佐藤 弘信 議員

町長が提出した予算に議会が承認したもので、法的に問題はなく、各議員の認識の違いはありますが、何度も謝罪をしていることから、正副議長の報酬削減に反対します。

緑川 栄一 議員

正副議長に対する減給案は、議会運営、言動等に著しい過失等があった場合に議論される案件であり、本案件がそれに当たるところはまったくありませんので、反対します。

関根 角男 議員

予算審議で見落としがないか確認したのに気がつかず、予算が可決されたことは誰の責任でもないことから、正副議長の減給にはふさわしくないので反対します。

賛成

野崎 喜彦 議員

正副議長が説明もなく予算計上に至ったことは、議会の軽視となり許されることではありません。しかし、責任を回避しない潔い決断に敬意を表して、賛成します。

岡部 淳一 議員

議員活動服に関して議会全体に諮るべきものであったのは明白であり、議会全体の問題でもあります。今後はこのようなことがないように、議論を徹底して尽くすことが必要だということを申し上げて賛成とします。

木戸 久康 議員

任期を半分も過ぎてから、議員活動服の予算計上に至った責任は大きいですが、見逃した議会議員にも責任があります。正副議長の報酬削減の申し出を重きと認め、賛成いたします。

採決

賛成 4
反対 7

否決

反対	賛成
藁谷	野崎
緑川	岡部
鈴木 (一)	木戸
佐藤	佐川
矢内	
鈴木 (昭)	
関根	

専決処分された補正予算

会計区分	補正額	補正後の予算額	採決
平成29年度一般会計第6次補正予算	▲ 82,399,000 円	4,944,588,000 円	全 員 賛 成
平成29年度国民健康保険特別会計第5次補正予算	▲ 8,164,000 円	719,174,000 円	
平成29年度簡易水道特別会計第4次補正予算	▲ 498,000 円	83,572,000 円	
平成29年度農業集落排水事業特別会計第3次補正予算	▲ 6,818,000 円	76,021,000 円	
平成29年度林業集落排水事業特別会計第4次補正予算	▲ 137,000 円	26,438,000 円	
平成29年度介護保険特別会計第4次補正予算	▲ 15,977,000 円	745,602,000 円	

専決処分された条例の改正

古殿町税条例の一部を 改正する条例

固定資産税

平成33年3月31日までに行われた中小企業の一定の設備投資について、固定資産税を軽減します。
※生産性向上特別措置法のもと、市町村が主体的に作成した計画に基づくものに適用されます。

法人住民税

●外国子会社合算課税の適用を受ける場合の税額控除。
(国内の親会社に所得の合算がされる場合に、外国子会社が納めた税額を控除します)
●延滞金の計算における控除期間。
(納期限が延長されている場合の減額更正後の増額更正による延滞金の計算の際に控除される期間です)

西川町議会運営委員会が来町



西川町と古殿町の議会運営委員会

山形県西川町議会運営委員会の7名の皆さんが6月21日、議会活性化や開かれた議会の取り組みについての視察に訪れ意見交換を行いました。

〔山形県西川町〕

山形県の中央に位置し、出羽三信仰の聖地として有名で、月山でのアウトドアや月山志津温泉などに多くの観光客が訪れます。



一般質問は、6月13日に7人の議員が14問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずねる

一般質問

町政を質す

野崎 喜彦 議員 8

- (1) 地域防災力の充実・強化について
- (2) 健康運動と予防医療の推進について
- (3) 会議の正当性と予算の積算過程について

緑川 栄一 議員 9

- (1) 町道改良計画は
- (2) 地元企業との連携計画は

藁谷 直吉 議員 10

- (1) 町の活性化対策について

佐川 勇司 議員 11

- (1) 学校給食について

佐藤 弘信 議員 12

- (1) 中学校運動部活動改革指針について
- (2) 所有者不明の土地等の固定資産税について

木戸 久康 議員 13

- (1) 予算編成の心構えと会議のトラブル防止について

岡部 淳一 議員 14

- (1) 広域化により国保事業は今後どうなるのか
- (2) 災害対策の現状と今後の取り組み
- (3) 町と議会にとっての公文書の扱いとは
- (4) モニタリングポスト撤去問題について



のざき よしひこ 議員
野崎 喜彦

地域防災力の充実・強化を

「機能別消防団制度」の検討を進める

町長

消防団は、地域の消防

防災の要としての役割と地区の伝統行事の維持・継承や地域の発展に深く関わってきました。近年、団員の確保が難しい現状から、地域の安全確保はもとより、地域の活性化に対しても心配する声があります。

さらに、昨今の災害は想定をはるかに上回る規模です。そうしたことから組織の充実・強化と併せて具体的な対応策が必要です。

野崎 消防団の定数確保

に向けた取り組みは。

町長 地元分団役員が勧誘活動をしております。

野崎 消防団協力事業所への特例措置・支援策の導入は。

町長 特にございません。

野崎 団員に対する優遇措置は。

町長 県が行う、消防団応援企業に町内の一飲食店が登録しており、団員家族が優遇措置を受けることができます。

野崎 「大規模災害団員」の確保と「機能別消防団」導入の考えは。

町長 検討を進め、制度化を図ってまいりたい。

野崎 地域ごとの「自主防災組織」を立ち上げる考えは。

町長 検討すべき課題であると考えます。

野崎 「住民参加型」の防災訓練を実施すべきだ。

町長 消防団で、10月に防災訓練を実施する予定です。



消防団・出初式パレード

健康運動と予防医療の推進を

特定健診や人間ドックの充実を図る

町長

健康保険、介護保険の

負担の軽減の根本策は、どのようにして「健康寿命」を延ばしていくかという1点にあります。そのためには、健康な高齢者を増やすことで、拡大する社会保障費の抑制を図ること、予防医療の推進や生活習慣病などの予防対策の徹底を組織や地域を上げて推進することが不可欠です。

野崎 認知症と生活習慣病の予防対策は。

町長 介護予防や特定健診、健康増進事業などの取り組みを継続します。

野崎 介護保険の見直しと問題点は。

町長 介護保険は高い水準で推移する見通しであり、保険料の増加や利用者負担の増、マンパワー

不足などが挙げられます。

野崎 「健康運動」を推進すべきと思うが考えは。

町長 「ふくしま健民パスポート事業」などの取り組みを拡大してまいります。

野崎 予防医療等に向けた取り組みは。

町長 特定健診や人間ドックなどの各種検診による疾病の早期発見、早期治療。生活習慣病改善と疾病の重症化予防が重要な取り組みと考えます。

その他の質問

「会議の正当性と予算の積算過程について」の質問も行いました。

岡部町政においては、社会資本の整備等に重点を置き、国道349号いわき石川線の二次改良も進められ、数年後の完成が待たれるところであり、町道においては、社会資本整備総合交付金により4路線の改良が進められているところであり、進捗状況等について伺います。

緑川 4路線の進捗状況および完成年度は。

町長 町道竹貫田いわき線が約61%、町道越代熊倉線が約6%、町道松久



道路改良が望まれる一級町道竹貫古殿線



みどりかわ えいち 議員
緑川 栄一

町道改良計画は

荷市場古内線は平成32年度完成予定

町長

保鷗線が約2%、町道下論田鷗線については今年度以降の着手となります。

緑川 中山間地域総合整備事業による荷市場から古内までの完成年度は。

町長 平成29年度までに荷市場から戸倉内地区間が完成し、西渡の一部を除く残り区間において工事が着工される予定となっており、完成は平成32年度の予定となっております。

緑川 一級町道百目鬼犬仏線および竹貫古殿線の改良計画は。

町長 現在のところ全線

緑川 地元蔵元と連携したイベントおよびPR活動計画は。

町長 地元の農業法人と蔵元で行っている新成人の酒米作りについて後援しているところであり、PRについては、町外で行われる物販会等において、製品の紹介および販売を行っております。ま



鑑評会で金賞を受賞した蔵元

地元企業との連携計画は

蔵元と連携したPR等を後援

町長

平成29年酒造年度の全国新酒鑑評会の審査結果が発表され、豊国酒造が見事金賞を受賞いたしました。ここ10年間においても9回の金賞受賞となり、町としても新たな観光資源として活用すべきと考え次の点について伺います。

緑川 地元蔵元と連携したイベントおよびPR活動計画は。

町長 地元の農業法人と蔵元で行っている新成人の酒米作りについて後援しているところであり、PRについては、町外で行われる物販会等において、製品の紹介および販売を行っております。ま

た県が行う「ふくしま酒蔵めぐりスタンプラリー2018」に蔵元が参加する予定となっております。

緑川 ふるさと納税制度と連携したPR活動は。

町長 ふるさと納税は、地元特産品の売り上げが

増加することなどにより地域の活性化が図られ、町の魅力や特産品を全国にPRすることができる制度でありますので、返礼品など創意工夫をしながら、町のPRに繋がるよう取り組んでまいりたいと考えております。

緑川 日本酒で乾杯条例制定の考えは。

町長 現在、全国で百を超える自治体が、いわゆる乾杯条例を制定しております。今後、蔵元をはじめ、関係者からのご意見を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。



わらがや 藁谷 直吉 議員

鮫川河川敷をボランティアで 清掃する考えは

ボランティア活動等の意識の 涵養に努める

町長

町も、平成30年4月1日現在で現住人口が4963人です。

このままの減少傾向でいきますと5年、6年後には4000人をきる可能性があります。

人口減少の町を元気にするために、魅力あるまちづくりを行い、若い方の定住化促進、Uターン・Jターン、イターンの施策などを図り、高齢者の健康を増進させ、町を觀



除草等が望まれる鮫川河川敷

光促進し、交流人口を拡大して知名度をアップさせて、活性化対策をする必要があります。

そこで、次の点について伺います。

藁谷 役場のロビーを、福祉バスの待ち場所にすることを考えています。

町長 現在の役場のロビーや隣接する町長談話室も福祉バス利用者の待合室として利用いただいております。

藁谷 鮫川河川敷をボランティアで清掃する考えは。

町長 現在、町内企業による清掃作業や、団体等による除草作業などを実施していただいているところですが、町としても毎年7月に実施しております道路河川愛護デーにおける美化作業などを通じ、ボランティア活動等の意識の涵養に努めてまいる考えです。



例大祭で披露される「やぶさめ音頭」

町のホームページで「ふるどの音頭」 「やぶさめ音頭」を聞けるようにする考えは

町のホームページで聞けるように 作業を進めている

町長

藁谷 町のホームページで「町民の歌」「ふるどの音頭」「やぶさめ音頭」を聞けるようにする考えは。

につまましては、町のホームページで聞けるように作業を進めているところです。

町長 現在、「町民の歌」

「ふるどの音頭」「やぶ

さめ音頭」につまましては、今後、検討してまいります。

藁谷 「ふるどの音頭」「やぶさめ音頭」の踊りを後世に継承していくために映像として記録保存する考えは。

町長 使える映像を確認したうえで検討してまいりたいと考えております。

鮫川村に学校給食業務を委託してから約12年経過したかと思えます。施設・設備・食の安全管理には、万全の体制で運営していると思えます。食の面からも子供の成長に大きな役割を担う施設と思えます。今後も安心安全な調理管理が望まれます。また、給食費支援は子育て支援と若者定住促進対策と合わせ取り組む施策と思えます。そこでの伺います。



佐川 近年の学校給食費滞納状況は。
町長 ここ3〜4年の経緯の中で滞納がありましたが、現在は完納されており。

佐川 石川管内の給食費支援に合わせ、子育て支援と若者定住促進対策を維持しながら、給食費無料化に取り組むべきと思うがどうか。
町長 現在の支援内容を継続しながら検討を進めてまいります。

検討を進める

学校給食の無料化を



さがわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

町長



子どもたちの食の安全を担う給食センター



小学校の給食のメニュー



給食の配膳



中学校での給食の様子



さとう ひろのぶ 議員
佐藤 弘信

中学校運動部改革指針とは

部活動の新たな環境の構築です

教育長

スポーツ庁が、中学校運動部改革指針を発表しました。市町村の教育委員会や学校は、ガイドラインを参考に練習時間と休養日を盛り込んだ活動方針を策定するとなっています。そこで活動方針について伺います。

佐藤 中学校運動部活動改革指針の内容は。

教育長 1点目は適切な休養日等を設けること。2点目は事故防止やハラメントの根絶を図ること。3点目は週2日以上



無理のない運動部の活動を

の休養日を設け、平日の活動時間は2時間とすること。4点目は生徒・教員数の実態にあった運動部を設置すること。5点目は大会等の見直しを図ることとなっています。

佐藤 古殿中学校の部活動活動方針は策定されているのか。

教育長 すでに古殿中の運動部活動方針は策定されています。教育委員会

の方針を示し、生徒の効率的な体力技能の向上と職員の間外勤務の減少を盛り込んでいます。

の休養日を設けること。二つ目は練習時間の上限を設けること。三つ目は長期休業中に学校閉庁日を設けることなどです。

佐藤 どのような内容になっているか。

教育長 二つ目は部活動で部員・保護者に周知し

ているか。

教育長 PTA総会で文書を使って説明しています。今後、保護者の意見も参考にしながら順次実行していく予定です。

所有者不明の土地等の固定資産税の徴収は

固定資産税を徴収できない状況にあります

町長

佐藤 所有者不明の土地・建物はありますか。

町長 二納税義務者分について、土地および建物が不明となっております。

佐藤 所有者不明の土地の固定資産税の賦課・徴収はどのようにしているのか。

町長 賦課は行っていますが、納税通知書を送付する相手が存在しませんので、税を徴収できない状況にあります。

佐藤 寄付採納を申し出された場合、対応をどのようにするのか。

町長 町に寄付できるか

相談を受けたことはありませんが、所有者において売買や贈与等で財産の処分をお願いしているところでは、権利者が少ないうちに相続登記して所有者を明確にされるよう今後とも相続人等に働きかけを行っていきます。



固定資産税を啓蒙するパンフレット

佐藤 所有者不明の土地に対して、どのような対策をしていくのか。

相談を受けたことはありませんが、所有者において売買や贈与等で財産の処分をお願いしているところでは、権利者が少ないうちに相続登記して所有者を明確にされるよう今後とも相続人等に働きかけを行っていきます。



きど ひさやす 議員
木戸 久康

予算編成の心構えと会議の
トラブル防止について

トラブルになったケースは
ないと認識しております

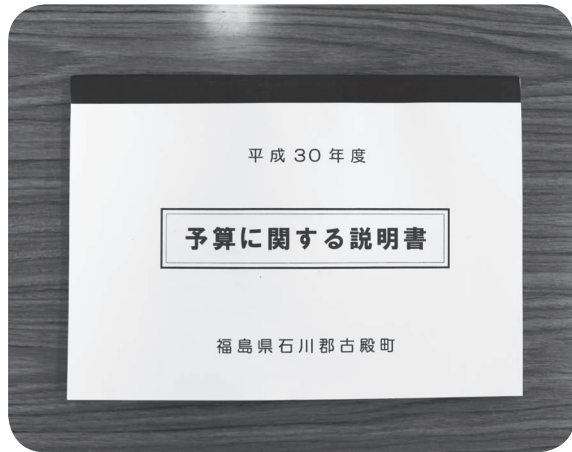
町長

木戸 通常は各課からの要望を取りまとめ、最終的に町長査定をし、予算が決定して議会に提出されると思うが、一連の編成までの流れについて詳しく説明をお願いします。

町長 予算編成にあたっては、予算編成事務説明会を開催した後に、各課から予算要求書の提出を受け、総務課において要求内容のヒアリング等を行い、要求内容を整理し

木戸 本会議は録音し、その後議事録を作成し、それが正式発言となり、後日確認できるわけですが、町長の要請で開かれる全員協議会で、町側は議員の発言を後日確認する場合、どのような方法で確認しているのか。

町長 本会議については会議録の作成が法律上求められていることから、作成された会議録により確認できるのですが、全員協議会については、会議規則に基づく全員協議



最終的に町長査定が行われる予算

と、「事実上の会議」として開催する会議により、その記録の要否は分かれるものであり、「事実上の会議」の場合、会議の記録を正式に残す必要はないものですから、会議に参加した各議員の発言を逐一確認することはできないものと認識しております。

あわせて、議員ご指摘の昨年12月19日から1月23日までの間に合計で4回開催された全員協議会は、議員のご提案により



全員協議会が開かれる会議室



おかべ じゅんいち 議員
岡部 淳一

広域化により国保事業はどうなるのか

安定的な財政運営や効率的な事業運営を図ります

町長

今年度より国保税の徴収が県に二元化されました。そこで国保事業全体の考え方や進み方、税徴収の推移による町民負担がどうなるのかを伺います。

岡部 なぜ広域化されたのか。

町長 国保は、国民皆保険制度の最後の砦として重要な役割を担っています。その一方、市町村国保は小規模保険者が多く年金生活者等の無職者・非正規労働者などが多く加入しているため、税の

市町村で同一の保険税を算定することです。今はバラツキがありますが、将来的に同一保険料率になります。

岡部 町基金の取り扱いはどうなるのか。

町長 安定的な国保財政運営のために活用します。

岡部 町国保審議委員会の役割はどうなるのか。

町長 役割に変更はなく

災害対策の現状と今後の取り組みは

ハザードマップの作成を計画をしています

町長

自然災害は、突然起こると考えなくてはなりません。そのついで大雨による洪水と氾濫があります。そこでこれまでにも増した対策が求められる現状の中で、次の点を伺います。

岡部 整理されたハザードマップは、いつ出されるのか。

町長 土砂災害警戒区域の県指定が完了した行政

国保予算や運営に関し諮問を受け、協議・答申します。

岡部 今後取り組む事業内容は何か。

町長 疾病の重症化予防に取り組みます。

岡部 税負担軽減にどう取り組むのか。

町長 医療費の抑制が負担減少につながると思いますが。

区から順に作成を実施する計画ですが、時期は未定です。

岡部 町内河川の中で被害発生の可能性があると

思う地点はあるか。

町長 過去に大雨により水位が上がリ、水があふれた箇所や川の合流地点

です。

岡部 国や県など関係機関との協議はしているか。

町長 河川の氾濫を防ぐ



氾濫など予期せぬ災害への対策を

ため、県に対し、堆砂除去の要望を行うとともに県中南部水害対策協議会等で協議をしています。

岡部 予算的な対策はされているのか。

町長 当初予算措置はありませんが、災害発生初期対応としては、予備費の充当、その後については、必要に応じて補正予算で対応します。

岡部 もし発生した場合の具体的な対応策は万全か。

町長 予測できない事態も発生していますが、速

やかな避難所の開設や国県に対する応援要請、また、災害協定に基づく関係機関との連携により、適切に対応します。

その他の質問

「町と議会にとっての公文書の扱いとは」
「モニタリングポスト撤去問題について」
の質問も行いました。

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 三株山頂富士見台改修に木材の利用を

Q 平成29年3月一般質問から

富士見台の改修は鉄骨でなく従来どおり木材利用ではどうか。

A 町長答弁

強度と耐久性を確保する観点から、基本的に鉄骨造りにしたいと考えております。



竣工された三株山頂富士見台

その後の
対応

町内の間伐材を使用しました

改修された三株山頂富士見台については木部のデザインがあり、町内の間伐材が利用されています。



部分的に木材が利用されている

温かみのある木のデザインだね。
たくさんの方が来てくれるようにPRしよう！



しみもっちー

平成27年の中学生議会で提案されて誕生した「凍み餅」のキャラクター

No.35

今回紹介するのは、

「環境美化に精を出す田口松森地区」のみなさんです。

*年に3回 町道沿線の草刈りを実施

松森地区13戸（野崎喜彦班長）のみなさんは「見通しの良い安全な道路を維持しよう」と年3回（5、7、9月）町道沿いの草刈り作業を実施しています。

以前は、毎年7月の第1日曜日に実施されていた町の「クリーンアップ作戦」の1回だけでしたが、「草が道をふさいで危険だ」との理由と、5年前から、「中山間直接支払事業」の景観作物として町道沿いに植えられた「アジサイ」周囲の除草もあわせて行っています。



元気いっぱいな松森地区のみなさん（クリーンアップ作戦）



見頃を迎える柏葉アジサイ

*連携と絆で郷土を守ろう 「きれいなアジサイを見に来て!!」

前班長の野崎正夫さんは、「私たちの地区では今でも、春に入道山（標高686m）に奉られている『観音講』をお参りし、秋には『山の神講』を開催して、地区の連携と絆を高めあっています。

アジサイは約300本植えられていますが、どの花も珍しい品種ばかりです。中でも『柏葉アジサイ』は、本数も多く見応えがあります。ぜひ見に来てください」とにこやかに話していました。

**“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか**

次回の
定例会

9月 上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ